

今後10年後を見据え、成長が期待される産業分野(航空機産業)や新技術(人間工学・感性工学)について、本県での成長性の検証を行うための活動に取り組み、本県の新たな産業支援の可能性を見出す。

課題克服に向け、平成25年度は、以下の取組みを企画提案公募(プロポーザル)による外部委託により実施する

◆ 広島航空宇宙研究会(仮称)

◆ ひろしま感性イノベーション研究会(仮称)

● 目的

次世代産業創出の観点から、その地域・企業のポテンシャル調査、成長の可能性についての意見聴取を行うとともに、本県の新たな産業支援についての戦略の方向性や取り組むべき内容等について検討する。

● 課題

航空機部品が高品質・高精度であることから品質管理・検査システムを含む業界特有の認証取得(JISQ9100等)やメーカー認定を要する

● 課題

人間工学・感性工学を活用した製品開発はまだまだ少なく、認知度が低いため、今後さまざまな企業での製品開発促進を要する

◆ 取組

ポテンシャル調査

- ◆ 既存資料による調査、中央機関及び他地域の産業振興組織を中心にヒアリング調査を実施する。
- ◆ Tier1企業をキーパーソンとし、業界の現状、今後の見通し等を吟味し、真に必要な技術、認証を整理する。

支援方策検討

- ◆ 研究会運営～学識経験者、認証取得企業等で構成し、支援内容・方策について検討
- ◆ セミナー～普及啓発、関連企業のニーズ把握を通し、参入にむけたハウツー講義を開催

◆ 取組

ポテンシャル調査

- ◆ 文献調査及び関係機関・有識者等へのヒアリング調査等により、人間工学・感性工学の現状・課題を把握し整理する。
- ◆ 人間工学・感性工学における県内企業の開発・生産等の動向や国・先進県での取り組み状況を把握し、整理する。

支援方策検討

- ◆ 人間工学・感性工学に関連する県内企業・大学等が参画する研究会を開催し、本県での成長の可能性等について意見を聴取。
- ◆ 新製品開発への発想などの技術編や企業活動経験を交えた実践編で構成される普及啓発セミナーを開催。

● スケジュール

- 平成25年5月 委託先決定
- " 7月 第1回研究会開催(第2回目を秋頃、第3回目を平成26年1月頃開催予定)
- " 秋頃 普及啓発セミナーの開催、中間とりまとめ
- 平成26年3月 とりまとめ